

平成15年度国土交通省政策評価年次報告書の概要

【社会資本整備重点計画を踏まえた目標・指標体系の再構築】

平成15年10月に社会資本整備重点計画を策定

同時に、社会資本整備重点計画と政策評価基本計画とを整合の取れたものとするべく、政策目標、業績指標を改定

【成果目標別予算の作成等の予算制度等との関係】

平成16年度の予算要求に当たり、成果目標別の予算総括表等を作成

【政府全体における政策評価重視に向けた取組み】

平成16年度から試行的に実施することとされた規制影響分析（RIA）については、政策アセスメントにおいて既に規制も対象としているが、政策アセスメントの枠内で試行するとともに、今後分析手法等を更に検討していく

平成16年度予算から、定量的な政策目標の設定、効率的な予算執行、厳格な事後評価を特徴とする、モデル事業（例：船員データの電子化）、政策群（例：緑豊かで安全・快適な都市の再生、外国人が快適に観光できる環境の整備）を試行的に実施

平成16年6月の骨太方針に基づき、17年度より予算における成果目標を明示し事後評価を徹底

【今後の課題等】

社会資本整備重点計画、予算制度改革等の中で、政策評価の重要性が一層高まる

行政評価法の見直しに当たり、手順・手続を重視したものから、各府省における自主的なマネジメント改革を尊重するものに改めるべき